



きつしょういん 秋

- 往診・訪問診療の体制を強化
- 吉祥院エリア 日常医療活動総括会議
- リニューアル工事がはじまりました
- 放射線課の紹介
- 核兵器・原発ゼロへ



医療費のことでお困りの方はお気軽にご相談ください。
当病院では無料・低額診療制度を実施しています。

往診
(訪問診療)
同行記

我が家での生活を支える 雨にもマケズ、風にもマケズ



吉祥院病院
外来看護師
荒屋 滋子



吉祥院病院の外来看護部からあらかず診療所の往診のお手伝いに行っています。普段の病院の外来とは違った看護のあり方に、新たな発見や普段忘れがちなことを改めて気付かされること

がたくさんあります。まだ慣れずに戸惑ったりすることも多いのですが、診療所全体のバックアップを受けてがんばっています。

往診は医師、看護師、運転手さんの三人一組で出かけます。午前、午後それぞれ15件前後のお宅へ伺います。血圧や体温を測りながら体調など変わったことがないかお話しします。以前に病院に通院されていた患者さんが覚えてくれていて懐かしくお話しすることもあります。テレビがついているとニュース等の話になったりもします。若い頃に出てきた出身地の話、お子さんやお孫さんの話など自宅にいる気楽さからかよくお話ししていただきます。病院に来られている時とは違った患者さんの一面に触れる機会があるのも往診の魅力の一つです。

往診の出先では看護婦は自分一人だけです。患者さんの容態が良くない場合には入院を手配することもあります。ご家族がおられない方は病院までの交通手段の手配しなければならぬ場合もあります。患者さんだけでなく残ったご家族のお世話を誰がするかを考えなければならぬ場合もあります。患者さんの病状だけでなく様々な事の判断を短時間に求められます。絶えず医師・診療所と連絡を密にコミュニケーションをとって業務にあたっています。

鍵の開け方、処方箋の置き場所、訪問前の電話などの細かい事も住み慣れた地域の「我が家」での生活を支えるための欠かすことの出来ない事です。その人らしく生活出来る場所である「我が家」での本人、家族の身体的、精神的な思いに寄り添い関心を持って「傾聴」する姿勢で往診同行の一翼を担う医療スタッフでありたいと思います。色々大変な事もありますが、「雨にもマケズ、風にもマケズ」です。



さらに健診などの保健予防、外来での疾患管理、入院や在宅での療養支援、急性期病院との連携など、安心して暮らせるまちづくりの一環を担って地域と共に歩んでいきたいと思っております。

その診療所が10月1日より病院と合併し吉祥院病院在宅医療部となります。今後は機能強化型在宅療養支援病院としてあらかず診療所の役割を引き継ぎます。新たに訪問看護ステーション、デイケア、ショートステイなどが複合したサービスを導入して在宅で療養されている患者さんに必要とされる地域密着型の医療・介護を総合的に提供できる体制を強化します。

往診・訪問診療の体制を強化へ 吉祥院病院と あらかず診療所が合併します

10月1日
より

あらかず診療所は、1999年に公益社団法人京都保健会吉祥院病院の在宅部門から独立し、往診・訪問診療を主とした診療所として南区吉祥院九条町に開設しました。2000年には吉祥院西浦町に移転し、訪問看護ステーション、ヘルパーステーション、デイサービスを併設した、在宅総合センターの中核を担う診療所として医療・介護分野での活動を展開してきました。また、2002年5月より、医師の24時間拘束体制を確立し、夜間の臨時往診にも取り組んで地域に根ざした診療所として医療活動を行ってきました。

吉祥院エリア日常医療活動総括会議

生存権・健康権を守る リニューアルを

吉祥院病院 事務次長 村上 広幸

第16回吉祥院エリア日常医療活動総括会議を6月28日に開催しました。私たち吉祥院エリア事業所の全職員が参加して1年間の私たちの医療・福祉活動実践や社会保障改善への運動、組織や職場運営を振り返って議論し、新しい1年へのステップにしようという毎年行なわれています。今回は「生存権・健康権を守るリニューアルを」地域から必要とされる病院・事業所にむけて」とテーマを掲げ、8月からの工事着工を目前にして、リニューアル完成後の吉祥院病院を中心とした吉祥院エリア事業所の今後について話し合いました。

前半は清洲院長から「総括会議によせて」としてリニューアル後に新たに展開する事業の概要やこれらから目指すべき事業活動についての問題提起。続いて「民医連がめざす地域医療連携」と題して大阪民医連事務局次長の是枝氏に講演していただきました。

後半は清洲院長の提起と是枝氏の講演をもとに、職員や友の会役員さんが8つに分かれて分散討論を行い、リニューアル計画に関する各自の思いを出し合いながら、建物（ハード面）だけではなく医療・介護活動の中身（ソフト面）について語り合いました。地域から必要とされる病院・事業所にむけてリニューアル計画を成功させる思いを一つにした総括会議になりました。



毎年恒例の新入職員紹介

リニューアル工事がはじまりました

8月よりリニューアル工事が始まりました。現在、正面玄関となる新館の建設と2階部分の工事が行われています。12月には3階病棟から引越ができる予定です。

新しい2階病棟は面積が増えて病室の狭さが解消されます。7床室や6床室が無くなり、1床あたりの床面積も増えます。個室も増えて8部

屋になります。内装は木目調の落ち着いたものになります。老朽化で改善困難だった問題が解消されて、快適に療養にしていただけだった環境になります。新設の浴室には寝たままの姿勢で入浴できる設備が入ります。今まではシャワー浴だけだった患者さんも湯船に入ってお風呂に入ったという実感が得られるようになります。



吉祥院病院をご利用の皆様へ

増築・改修工事のお知らせ

下記の期間にて、増築・改修工事を行います。

工事期間
平成24年8月1日(水)～平成25年8月末

増築棟 I期工事 (既存建物2階改修)	II期工事 (既存建物3階改修)	III期工事 (既存建物1階改修)	IV期工事 (既存建物1階本館 増築・改修)
平成24年 8月1日	11月末	平成25年 2月末	5月末

平成25年秋完成予定

吉祥院病院
施工：野口建設株式会社

吉祥院病院をご利用の皆様には、工事期間中は何かとご迷惑をお掛けいたしますが、細心の注意を払いながら工事を進めて参りますので、何卒、ご理解の程をよろしくお願い申し上げます。



放射線課の紹介



医師が診断をするためには、症状に合わせ検査をすることがよくあります。いろいろな検査がありますが、放射線課もなくてはならない検査を手がける部署の一つです。

その種類は多岐にわたり、X線一般撮影、病棟での撮影、透視検査、CT検査などが当病院放射線課の主なものです。

今回は私たち診療放射線技師の普段の仕事目線の画像でそれぞれの検査紹介をしたいと思います。

X線一般撮影

まずはX線一般撮影です。

ご存じの方、撮影をされた方も多くいらっしゃると思います。よくレントゲン撮影といわれる私たちの代表的な業務の一つです。

内科ではよく胸部の撮影があり、技師から「息を吸って、止めて下さい。」というあれです。胸部とは逆に「息を吸って、吐いて、止めて下さい。」と言う吐いて撮影するのは腹部、腰椎などの撮影になります。

この違いは胸部撮影の場合、一般的に肺に空気が多く入り膨らんだ状態の方が見やすく、肺や胸部の情報

量が多く写るとされているためです。逆に吐いて撮影するのは、呼吸に関わる横隔膜が息を吐くことにより上へ上がり、腹部の情報が多くなる。また吐くことにより、体（お腹）の厚みが減りX線量の軽減につながるとされているためです。

皆さん、息止めは合図に合わせて、しっかり行って下さい。



患者様情報入力機器（写真左）。X線量（撮影条件設定）を制御する機器（写真右）。

透視検査

透視装置を使っていろいろな検査、処置を行います。皆さんに馴染みがあるといえば、胃、大腸のバリウムを使った検査だと思います。胃、大腸どちらも空気で膨らませた状態でバリウムをその中で動かしながら撮影するため、患者さんに透視台の上で寝ていただき、横向き、うつぶせなど体の向きを変え動いていただかなくてはなりません。また検査後は水分を十分摂っていただきバリウムがお腹のなかで固まらないよう注意しなければなりません。



上段右から、透視台を動かすレバー。透視台を立てたり寝かせたりするレバー。透視する範囲を調節するレバー。お腹に圧迫を加えるレバー。下段右から透視X線を出すフットスイッチ。患者様に指示を伝えるマイクのフットスイッチ。左右の手足を駆使して検査を行います!!

CT検査

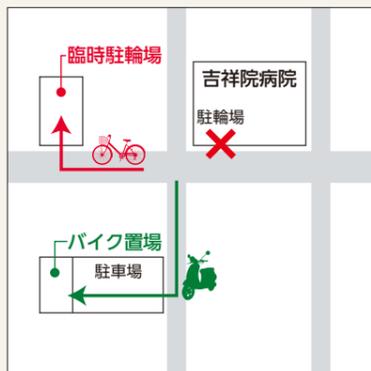
この検査も放射線課の代表的な検査です。体の断面を画像であらわすため、精密な検査です。この検査は一定量の空気を吸って止めていただき、寝台を少しずつ移動させながら撮影していきます。MRIが磁気を使うのに対し、CTはX線を使い、短時間に検査を終えることができ、緊急時の精密検査にも適します。



別角度で患者様の様子をモニターで見ることができ、中の音も聞こえ壁を隔てても会話できるようになっています。造影検査のときの注入速度を調節する機器です（写真右）。

駐輪場が変更になります

2012年8月より病院改修工事を着工しています。病院南側の駐輪場は使用できません。恐れ入りますが、病院西側の仮駐輪場（自転車用）と駐車場奥の仮バイク置き場をそれぞれご利用ください。



編集後記

朝、晩の暑さも少し和らぎ、秋の虫の声を聞くと秋がやってくるんだと実感します。

秋といえば食欲の秋。松茸などおいしい食べ物が増えてくる季節ですね。秋の味覚である米、いも類、栗などは糖質（でんぷん）が多くエネルギー源になります。『冬の寒さに備えてしっかり食べてエネルギーを蓄えましょう』ということだそうです。しっかり栄養をとり、厳しい寒さに負けないようにしましょう。
(有)

決断のとき

核兵器・原発ゼロへ

8月4日～6日にかけて広島で原水爆禁止世界大会が開催され、職員4名、健康友の会から1名が参加しました。原発事故をきっかけに平和や安全を自ら守っていくこうとする動きが全国で起きています。二度とヒロシマ・ナガサキ・フクシマを繰り返さないよう、原発、核兵器はいらないという声を上げ続け、その思いを繋いでいこうとみんながひとつになりました、その思いをみなさんにお伝えします。

祈る思いが声に、意思に

広島には小学校の時に修学旅行で初めて行き、その時平和資料館で見た当時の写真や現物、蟬人形がともりアルで怖くてそれから広島イメージがコワイ所になっていました。でも、この大会に参加して何も知らずにただ怖がっていただけの自分がとても恥ずかしく思いました。繰り返さないように、繰り返さないように、大事な命が奪われる事がもうあってはならないという強い願いと、平和を祈る思いが声になり



意思になる大会だと感じました。

日本は唯一原爆を落とされた国だからこそ、核兵器ゼロを世界へ発信し続けなければならない。

その為に私たちが出来ることは、忘れない事、伝えていく事がこの大会に参加した意味だと思います。

また、今、福島原発事故で放射能汚染が広がっていく中でも「電力不足だからしょうがない」「政府がきめることだから」ではまた悲劇がうまれてしまう…。自然エネルギーを求める運動、原発ゼロを目指す仕組みをみんなでしていかなければならないと思いました。
(医事課 船野)

行動で得る平和

参加するにあたって「今ある平和の尊さを感じるとともに、原発問題を身近な問題としてとらえ、放射能の恐ろしさを改めて深く学びたい」と思い参加させていただきました。広島を訪れるのも原水禁に参加するのも初めてでした。原水禁には多くの若者も参加しており、原発問題のこともあり、多くの幅広い年齢層が注目していることがわかりました。また、被爆者の方による実相学習会では原爆投下直後の悲惨さ、いつ発



原水爆禁止大会に参加して

今回、原水爆禁止大会に初めて参加させていただきました。今まで原

病する分からない原爆症の恐ろしさを感じることを話して頂きました。原爆が投下されて67年がたった今でも、目に見えない原爆による豊沙線との戦いは続いていると感じました。また、福島の原発事故によって放射線の恐ろしさが明白となり、新たなエネルギー政策を求めて全国各地で署名やデモ、平和行進など様々な活動が行なわれており、ただ平和を願うだけではなく行動に移すことが大事だと強く感じました。
(あゆみ薬局 今井)



水禁について学ぶ機会がありませんでしたが、これを機にいろいろ学べたらと思い、参加させていただきました。

開会総会では各国の方々の思いを聞くことが出来ました。印象に残ったことは動く分科会「岩国基地地調査」と広島平和記念資料館見学でした。岩国基地調査では今話題になっ

ている垂直離着陸機オスプレイを実際に見ることができました。またガイドさんが岩国育ちの方であり地元の方たちの実際の思いをきくことができました。岩国基地や普天間基地についての署名用紙がよく配布されています。それら署名が実際の住民の方たちの思いそのものなのだを再認識することができました。

平和記念資料館は小学生の頃に行ったことがありましたが、「こわい」という印象が強く残っていました。今回、医療従事者として原水禁世界大会参加者の一員として見学したことによって、小学生の時とは抱かなかった様々な思いが生まれました。
核兵器後遺症のおそろしき、残酷さを目の当たりにしました。当時の

様々な写真やその当時の衣服等をみると本当に心がくるしめられました。この学びを発表会等を通して多くの人に発信していきたいらと思えます。
(3階看護課 中西)



外来診療体制のお知らせ



2012年10月現在

		月	火	水	木	金	土	
朝	内科	1診	近藤	近藤	清洲	三浦	近藤	近藤
		2診	三浦	三浦	井上	近藤(3診)	清洲	三浦
		3診		谷村				神経内科(予約制)
	外科	1診	出口		倉田	倉田	鈴木	長岡
昼	内科	1診	近藤	近藤	三浦(糖尿病)		近藤	
		2診	清洲	中野(生活/卒煙)			中野(生活/卒煙)	
	外科	1診					泌尿器科	
夜	内科	1診	沢田		中野		田中	
		2診	池野		細野		三浦	
		3診			沢田			
	外科	1診	泌尿器科		長岡			

診療体制の変更のお知らせ

10月より月曜日夜の外科の有吉医師と金曜日夜の外科の素輪医師が休診となります。

受付時間
朝 8:00 ~ 11:30
夜 16:30 ~ 20:00

診療開始は朝9:00、夜18:00
(月・金曜日の夜の内科は17:30)

診療体制は事前に告知なく変更する場合があります。ご了承ください。

◎昼は予約制の診療です。事前の予約をお願いします。朝・夜は一部が予約制です。予約に関する事は「予約・相談コーナー」でお尋ねください。

◎内科の急患の方(16歳以上)は、朝8時から夜9時まで、受付時間外でも診療します。

○特定健診は医療保険者が行う健診です。健診を受けるためには医療保険者が発行する『受診券』と『健康保険証』が必要です。

対象となる方	対象年齢	自己負担額
①京都市国民健康保険	40～	保険者により異なります (①京都市国保は500円)
②被用者保険者の被扶養者(家族)※	74歳の方	
③国民健康保険組合※		

※②被用者保険と③国民健康保険組合は受診いただけない医療保険者があります。病院窓口または電話にてご確認ください。

上記の健診制度の対象でない方も、吉祥院健康友の会の健診など受けていただける健診制度がありますので、当院健診担当者までお問い合わせください。

連絡先：保健管理課 電話075-691-6473 (直通)

○京都市民の方が受けていただける健診

京都市国民健康保険の特定健康診査とほとんど同じ内容です。対象になる方には京都市から案内がとどきます。

対象となる方	自己負担額
④京都市民の後期高齢者医療の被保険者	負担はありません
⑤京都市民の生活保護受給者	

吉祥院病院で実施中の健診



公益社団法人 京都保健会
吉祥院病院

〒601-8314 京都市南区吉祥院井ノ口町43
TEL 075-672-1331
FAX 075-691-3477
<http://www.kissyouin-hp.org/>



交通のご案内

●公共交通でお越しの方

- JR 西大路駅徒歩 7分
- 市バス「西大路九条」下車 南西へ徒歩 5分
- 市バス「吉祥院車道町」下車 南東へ徒歩 5分

●お車でお越しの方

西大路九条の交差点を西へ1つ目の信号を南へ200m 病院の南西方向に駐車場があります

